

# 日刊 CARGO

物流総合紙

Daily CARGO Transport & Logistics News

2014年(平成26年)  
12月11日  
木曜日  
第11042号

月曜～金曜発行(祝日を除く)  
購読料: 1ヵ月8,000円+税  
(昭和44年9月30日 第三郵便物認可)

http://www.daily-cargo.com/



フジエアカーゴエクスプレスは成田空港や関西空港に営業所を置き、O.L.T.や混雑陸上輸送貨物のハンドリング、トラック・チャーター便の手配、貨物のダメージチェックをはじめとした、きめ細かなサービスを

## ワンストップで需要に対応

提供している。

成田空港では、空港内に成田営業所を置き、トラック・チャーター便の手配などの事業を展開している。今回、東京税関から通関業許可を取得したことで、成田通関営業所を開設することになった。

従来のトラック・チャーター便の手配と通関事業の二つのサービスを、パッケージ化して提供することを計画している。井上社長は

## フジエアカーゴエクスプレス

# 成田で通関業許可取得

## トラック輸送とセットで提供

フジエアカーゴエクスプレス(本社:大阪府泉南市「関西国際空港内」、井上博登社長「写真」)の成田営業所(成田空港第一貨物代理店ビル)が9日、東京税関から通関業許可を取得した。従来、提供しているトラックのチャーター輸送の手配と通関事業をセットで提供することを計画しており、輸出入貨物の空港搬出入、通関ニーズにワンストップで対応する。トラック・チャーターおよび通関のパッケージ・サービスについては、トラック手配の面で、優先的なトラック手配といったプライオリティを検討している。トラックの手配が難しい繁忙期などにおいても、安定したトラックの確保が可能になるといったメリットを提供する。今後は関西空港営業所(関西内)でも通関業許可の取得を目指す。

「空港搬出入貨物のトラック手配と通関のニーズにワンストップで対応することが可能となり、お客さまにとって業務効率の向上にもつながる。さらに、このパッケージ・サービスについてはトラック手配の面で、優先的なプライオリティ(優先的なトラック手配)を検討している。お客さまにとっては、より確実、安定的なトラックの確保が可能となる」と話す。

一方、成田営業所は現在、利用運送事業(第一種貨物利用運送事業「自動車」)

の形でトラック・チャーター便事業を展開しているが、今後は自社車両も導入。実運送事業の許可(一般貨物自動車運送事業許可)も取得する計画だ。まずは計5台体制(10ト車、4ト車、2ト車)でスタートする予定だ。従来の利用運送事業の形態に自社車両を加えることで、より安定的なトラック・チャーター便サービスを提供する。

フジエアカーゴエクスプレスは関西空港営業所でも通関業許可の取得に向けて準備を進めており、来年夏

の取得を目指している。成田空港、関空の両空港で通関事業を含む需要にワンストップで対応を可能にすることで、顧客にメリットを提供する。

なお、フジエアカーゴエクスプレスとグループの富士運輸は、フジエアカーゴエクスプレスのきめ細かなサービスと、富士運輸の長距離輸送サービスとのシナジーで高品質サービスの提供につなげている。

富士運輸は「全国30拠点・自社車両1000台」体制を計画している(現在26拠点、780台)。10月には高知県の物流事業者、県運(高知県吾川郡)を子会社化するとともに、高知営業所を開設。従来の高松営業所、愛媛営業所と合わせて四国3拠点体制とした。また、グループの従業員は1000人を超える体制となった。

~~~~~  
△フジエアカーゴエクスプレス成田通関営業所  
〒282-0002 千葉県成田市駒井野字台ノ田2091番地 成田国際空港内第二貨物代理店ビル2221号  
電話 0476-136186  
1476-136186  
1476-136186